

令和2年6月4日

## 令和1年度（2019年年度）学校関係者評価報告書

学校法人 国際総合学園  
新潟会計ビジネス専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人国際総合学園新潟会計ビジネス専門学校、学校関係者評価委員会は令和1年度（2019年度）自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、下記のとおり報告致します。

### 開催について

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、学校関係者評価委員の健康面・安全面に配慮し、学校関係者評価委員を集めての開催は行わず、書面での報告・意見聴衆・評価とさせていただきます。尚、書面での報告事項等は下記の通りとなります。

- ・ 本学の教育目標、教育方針の確認
- ・ 令和1年度（2019年度）の実績概要の報告
- ・ 自己点検、評価結果について

### 意見聴衆者（学校関係者評価委員会）

#### <外部委員>

- ・ 石田経理事務所 代表税理士 石田 直樹
- ・ 株式会社MGN E T 代表取締役 武田 修美
- ・ T S C本間秀修事務所 所長 本間 秀修

#### <内部委員>

- ・ 新潟会計ビジネス専門学校 副校長 長北 政和
- ・ 新潟会計ビジネス専門学校 教務部長 藤井 貴志
- ・ 新潟会計ビジネス専門学校 事務局長 田伏 菜智

## 新潟会計ビジネス専門学校 学校関係者評価委員会における評価・指摘事項等

### 【令和1年度（2019年度）の実績概要報告について】

・校舎移転をビジネスを学ぶ環境が整備されるとプラスにとらえ素晴らしい実績をだされたと思います。就職率100%、税理士試験簿記論合格率100%など、本当に素晴らしいと思います。

・相変わらず素晴らしい実績に驚いております。今後ますますご発展されますこと、楽しみにしております。

・当事務所も1名入所いただきました。とても頑張っております。基本スキル、応用力もあり助かっています。良き指導の結果と思っています。

【令和1年度（2019年度）の自己評価報告書について】

評価方法 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

○教育理念・目標 【評価：4】

- ・学校を取り巻く学校外の関係者（業界・企業・保護者）とのコミュニケーションを考慮して実践する方針であることは素晴らしいと思います。
- ・社会のニーズと業界のニーズを構想と方向性で分けて考えられていることは良い環境計画だと思います。

○学校運営 【評価：4】

- ・クラウド明細、Web サイトへの予約投稿など、最新の技術を用い省力化されるのは素晴らしいと思います。省力化、短時間化できない学生との面談時間を確保することもでき素晴らしいと思います。
- ・どの業界にも言えますが、今後ますますIT化が進み、教育の在り方も様変わりすると思いますので、良い内容でした。

○教育活動 【評価：4】

- ・教育活動の成果は教育実績に表れていると思います。企業から求められる人材像を意識した教育活動をされていることは素晴らしいと思います。
- ・学校運営同様、新分野や関連分野への対策が今後重要となる。

○学修成果 【評価：4】

- ・2年連続退学者0名は本当に素晴らしいことと思います。私自身の仕事の中で、NABIの卒業生と出会う機会があります。本当によく勉強されてきたことを聞き感心致します。
- ・学校生活の事前、事中がとても良い分、事後も力を入れ取り組まれることは結果、新しい事業に繋がります。

○学生支援 【評価：4】

- ・精神的、経済的、サポート体制があることは素晴らしいと思います。
- ・学習成果同様の部分には是非とも注力されると良いかもしれません。

○教育環境 【評価：4】

- ・全館Wi-Fiなどは素晴らしい環境と思います。
- ・学校の特色があるとより良いと感じます。

○学生の受け入れ募集 【評価：4】

- ・ネットの活用による募集活動は時流にのって素晴らしいと思います。並行した訪問活動や教育事業への積極的参加によるアナログ的活動が両輪となっており、素晴らしいと思います。

○財務 【評価：4】

・近い将来への課題を意識しており素晴らしいと思います。

○法令遵守 【評価：4】

・現状問題なしとのことで、素晴らしいと思います。

○社会貢献・地域貢献 【評価：4】

・明和義人祭、にいがた総おどりのボランティアスタッフ参加は、学生にとって良い思い出になるものと思います。学生の満足度と社会・地域貢献ができるよい取り組みと思います。

総括

新型コロナウイルスの影響で新潟の中小企業の求人が減る可能性があると思います。就職に強いNABIですので、心配無用とは思っておりますが、学校の理念、教育方針を活かし、更なる人材の輩出に努めていただきたいと思います。また、引き続きとなりますが、AIやIT化が進む中、時代に順応し必要とされる人材を輩出できるよう定期的にカリキュラムの見直しを図って行ってください。また、アフターコロナ対応のオンラインミーティングSNS等を使った遠隔授業等の対応についても検討をお願いします。

上記、学校関係者評価委員からの指摘事項等については、所管部署において改善策を検討するとともに、次年度の目標設定や具体的取組の改善を図り、教育の質の向上に一層の努力をすることを確認する。

以上